



日本・ポルトガル交流470周年記念 第5回 無形文化遺産理解セミナー

1543 - 2013 年 日本・ポルトガル



ファド ～ポルトガルの歌謡音楽～

日時 2013年6月8日(土)
11:00~12:30

会場 堺市博物館ホール

講師
◆京都外国語大学外国語学部 教授
大阪日本ポルトガル協会 理事
ジョゼ・ジュリオ・ロドリゲス さん
◆大阪日本ポルトガル協会 事務局長
舟木 正己 さん

※講義は日本語で行います。ファドの公演はありません。



参加費 **無料** (館内の展示を観覧する場合は、別途入館料が必要となります。)
★申込方法は裏面へ



南蛮屏風(堺市博物館蔵)

主催 堺市・大阪日本ポルトガル協会

今回のセミナーについて

ファドはブラジルやアフリカの影響を受けて生まれた音楽で、ポルトガルを代表する文化の1つです。2011年にはユネスコの「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載されました。

ファドはポルトガル語で「運命」や「宿命」を意味し、ポルトガル人の満たされることのない感情を歌っているとも言われています。

今回のセミナーでは、ポルトガルで収集したファドの映像や音源を交え、ファドの歌詞の内容をひもときながら、ファドに流れるポルトガル人の魂の記憶に触れ、ファドが誕生し広く受け入れられるに至った時代背景や文化的背景を探ります。

また、大阪日本ポルトガル協会から、協会の活動内容をご紹介します。



■お申し込み方法

- ◎FAX、電子メールまたは電話でお申し込みください。
- ◎FAX、電子メールの場合、参加希望者全員の必要事項（住所、氏名（ふりがな）、電話・FAX番号）を明記の上、**堺市博物館 無形セミナー係**へ。

■締切

2013年5月31日（金）必着

■定員

100名

- ◎応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。
- ◎ご応募いただきました全員の皆さまに参加の可否をご連絡いたします。

■アクセス

- ◎JR阪和線・関西空港線「^{もず}百舌鳥」駅下車 徒歩6分
- ◎南海バス「堺市博物館前」下車 徒歩4分



●日本・ポルトガル交流470周年

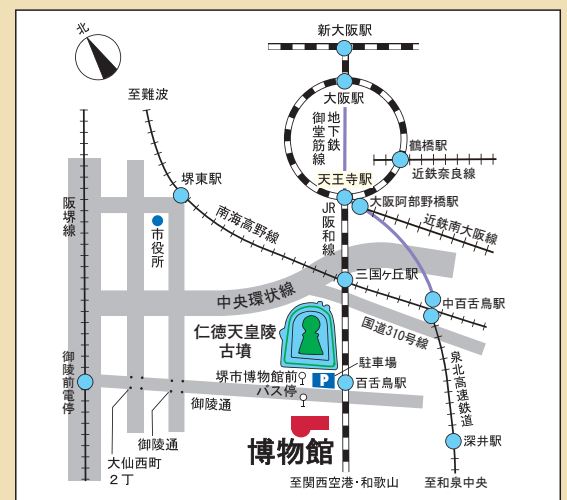
2013年は、1543年にポルトガル人が種子島にやってきたことにより、日本が西洋と初めて出会って470年目の記念の年にあたります。堺市では9月から10月にかけて様々な日本・ポルトガル交流470周年記念事業の実施を予定しています。

●大阪日本ポルトガル協会

市民レベルでの友好親善を図るために1994年に設立されました。ポルトガルの文化や歴史を紹介する例会、ファドコンサート、ポルトガル語教室など、年間通して様々なイベントを開催しています。

●表面「南蛮屏風」

ポルトガル人や彼らの船、日本人との貿易の様子を、京都の狩野派絵師などが描いたもののひとつです。長崎貿易や異国趣味を反映してもてはやされたようで、現存するものだけでも70点程が知られています。南蛮船が拠点としていた九州諸港や種子島は、貿易都市堺の商圏でした。



堺市博物館

SAKAI CITY MUSEUM

〒590-0802 大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内
TEL.072 (245) 6201 FAX.072 (245) 6263
E-mail hakugaku@city.sakai.lg.jp
URL <http://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan>

ハロー・ミュージアム:TEL.072 (244) 9898 (博物館の展覧会などを24時間ご案内)